

「くらしと健康の調査」面接調査

甲-54. 過去1年間に改善・促進・継続の仕度や家具の移動、買い物、車の車入れなど家事に関する事で、どなたかに相談してもらったことはありますか。

	1. はい	2. いいえ	3. わからな い	4. 回答拒否
全体	51 (100.0)	16 (31.9)	35 (68.0)	0 (-)
男性 計	10 (100.0)	4 (41.7)	6 (58.3)	0 (-)
男性 1. 男性50歳代	4 (100.0)	2 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)
男性 2. 男性60歳代	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)
男性 3. 男性70歳代	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)
男性 4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性 計	37 (100.0)	16 (27.0)	21 (73.0)	0 (-)
女性 1. 女性50歳代	16 (100.0)	7 (12.5)	9 (87.5)	0 (-)
女性 2. 女性60歳代	5 (100.0)	1 (41.9)	4 (56.2)	0 (-)
女性 3. 女性70歳代	0 (100.0)	0 (20.0)	0 (80.0)	0 (-)
女性 4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内は77 #歳を100とした割合

甲-54-1. どなたに家事を相談してもらいましたか(複数回答)

	1. 同居家族 または 近所の方	2. 同居家族 以外の 家族	3. 同居家族 または 近所の方 以外	4. その他
全体	16 (100.0)	30 (185.0)	12 (75.0)	6 (37.5)
男性 計	2 (100.0)	2 (120.0)	1 (60.0)	0 (-)
男性 1. 男性50歳代	2 (100.0)	2 (100.0)	1 (50.0)	0 (-)
男性 2. 男性60歳代	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)
男性 3. 男性70歳代	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
男性 4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性 計	10 (100.0)	13 (130.0)	7 (70.0)	5 (50.0)
女性 1. 女性50歳代	2 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)
女性 2. 女性60歳代	7 (100.0)	10 (142.9)	4 (57.1)	5 (71.4)
女性 3. 女性70歳代	0 (100.0)	0 (100.0)	0 (100.0)	0 (14.3)
女性 4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内は77 #歳を100とした割合

H-054-2. 過去1年間に平均してどのくらい家事を分担してまいりましたか。

	合計		1. 毎日		2. 毎週		3. 月に数回		4. わからぬ程度		5. 回答拒否	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
全体	16	9	3	3	0	0	4	4	0	0	0	0
	(100.0)	(56.3)	(18.8)	(18.8)	(0.0)	(0.0)	(25.0)	(25.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
男性計	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
1. 男性の専任	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
2. 男性の専任	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
3. 男性の専任	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
女性計	10	4	2	2	0	0	4	4	0	0	0	0
	(100.0)	(40.0)	(20.0)	(20.0)	(0.0)	(0.0)	(40.0)	(40.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
1. 女性の専任	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
2. 女性の専任	7	2	1	1	0	0	4	4	0	0	0	0
	(100.0)	(28.6)	(14.3)	(14.3)	(0.0)	(0.0)	(57.1)	(57.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
3. 女性の専任	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
注：()内は75%を100とした割合												

H-055. 過去1年間に、年間の総量等に對する分担率を調査。そのほかの具体的な負担や役割などを書くのを手伝ってもらったことはありませんか。

	合計		1. はい		2. いいえ		3. わからぬ		4. 回答拒否	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
全体	51	11	38	3	2	2	0	0	0	0
	(100.0)	(21.6)	(74.5)	(7.3)	(3.9)	(3.9)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
男性計	12	4	5	1	1	1	0	0	0	0
	(100.0)	(33.3)	(41.7)	(8.3)	(8.3)	(8.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
1. 男性の専任	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(33.3)	(33.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
2. 男性の専任	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
3. 男性の専任	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
女性計	37	4	32	1	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(10.8)	(86.5)	(2.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
1. 女性の専任	15	2	14	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(12.5)	(87.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
2. 女性の専任	16	1	15	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(6.3)	(93.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
3. 女性の専任	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	(100.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
注：()内は75%を100とした割合										

H-055-1. どの月に書類かきまを平年よりも多かったか(複数回答)

	回答者数	1. 同居家族 家族		2. 同居され ていないご 親族		3. 同居家族 友人や近 所の方		4. その他	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	11	12	(100.0)	12	(100.0)	5	(45.0)	1	(9.1)
男性計	3	3	(100.0)	3	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
1. 男性50歳代	2	3	(150.0)	3	(150.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
2. 男性60歳代	1	1	(100.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
3. 男性70歳代	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4. 男性不明	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
女性計	8	9	(112.5)	9	(112.5)	5	(56.2)	1	(12.5)
1. 女性50歳代	2	2	(100.0)	2	(100.0)	1	(50.0)	0	(0.0)
2. 女性60歳代	1	1	(100.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
3. 女性70歳代	1	1	(100.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4. 女性不明	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)

注：()内は100とした割合

H-055-2. 過去1年間に平均してどのくらい書類かきまを平年よりも多かったか

	合計	1. 毎月		2. 毎週		3. 毎月		4. 年に数回		5. わからな い		6. 回答拒否	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	11	2	(18.2)	3	(27.3)	1	(9.1)	4	(36.4)	1	(9.1)	0	(0.0)
男性計	3	1	(33.3)	1	(33.3)	0	(0.0)	1	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)
1. 男性50歳代	2	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
2. 男性60歳代	1	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
3. 男性70歳代	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4. 男性不明	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
女性計	8	2	(25.0)	3	(37.5)	1	(12.5)	2	(25.0)	1	(12.5)	0	(0.0)
1. 女性50歳代	2	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	1	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
2. 女性60歳代	1	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
3. 女性70歳代	1	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4. 女性不明	0	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)

注：()内は100とした割合

H-1556.【調査員の方向へ】このアンケートに答えた人を選んでください

	合計	本人のみ が回答	本人と配 偶者が回 答	本人と配 偶者以外 の代理人 が回答	本人と配 偶者以外 の代理人 が回答	配偶者以 外の代理 人が回 答
全体	414 (100.0)	274 (66.2)	39 (9.4)	8 (2.0)	2 (0.5)	1 (0.2)
男性計	180 (43.5)	111 (26.6)	5 (1.2)	3 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
1. 男性50歳代	80 (19.3)	48 (11.7)	7 (1.7)	3 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 男性60歳代	30 (7.2)	20 (4.8)	9 (2.2)	0 (0.0)	1 (0.2)	0 (0.0)
3. 男性70歳代	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	243 (58.7)	243 (58.7)	7 (1.7)	2 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
1. 女性50歳代	123 (29.7)	123 (29.7)	2 (0.5)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 女性60歳代	77 (18.9)	77 (18.9)	2 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 女性70歳代	43 (10.4)	39 (9.4)	3 (0.7)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内はパーセントを100とした割合

H-1600. 最後までご協力いただきまして本当にありがとうございます。お答えいただいた内容は、お名前を全くおわからなくした形で、処理させていただきます。今後さらに進む高齢化に向けて社会福祉政策立案の基礎資料として活用させていただきます。これから、今日うかがったことを次に分析を進めさせていただきます。もし可能であれば2年後に、〇〇さんが、その後の年齢をどのように過ごされたのか、様子をお知らせいただけますか？

	合計	協力して 回答	協力しな い	わからな い	拒否
全体	419 (100.0)	315 (75.2)	46 (11.0)	56 (13.4)	2 (0.5)
男性計	171 (40.8)	130 (31.2)	19 (4.5)	22 (5.2)	0 (0.0)
1. 男性50歳代	81 (19.3)	62 (15.0)	5 (1.2)	14 (3.4)	0 (0.0)
2. 男性60歳代	60 (14.3)	46 (11.0)	10 (2.4)	4 (1.0)	0 (0.0)
3. 男性70歳代	30 (7.2)	27 (6.4)	3 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	248 (59.2)	185 (44.7)	27 (6.5)	33 (7.7)	2 (0.5)
1. 女性50歳代	123 (29.3)	97 (23.6)	12 (3.0)	13 (3.2)	1 (0.2)
2. 女性60歳代	103 (24.6)	78 (19.1)	11 (2.7)	15 (3.6)	0 (0.0)
3. 女性70歳代	46 (11.0)	31 (7.5)	5 (1.2)	7 (1.7)	1 (0.2)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内はパーセントを100とした割合

1-001-1. 代わりの運動先として、どなたかご家族などの運動先をうかがっておくわけにはいかないでしょうか。

	合計	はい	いいえ
全体	(-)	(-)	(-)
男性計	(-)	(-)	(-)
1. 男性50歳代	(-)	(-)	(-)
2. 男性60歳代	(-)	(-)	(-)
3. 男性70歳代	(-)	(-)	(-)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)
女性計	(-)	(-)	(-)
1. 女性50歳代	(-)	(-)	(-)
2. 女性60歳代	(-)	(-)	(-)
3. 女性70歳代	(-)	(-)	(-)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)

注()内は77 # 家を100とした割合

1-001-2. 【調査員の方へ】運動先は同族ですか。

	合計	はい	いいえ
全体	419 (100.0)	201 (48.0)	322 (77.3)
男性計	185 (100.0)	22 (11.9)	178 (77.8)
1. 男性50歳代	81 (100.0)	20 (24.7)	61 (75.3)
2. 男性60歳代	69 (100.0)	11 (15.9)	49 (81.7)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	7 (23.3)	23 (76.7)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)
女性計	234 (100.0)	49 (21.0)	197 (84.4)
1. 女性50歳代	122 (100.0)	22 (17.9)	101 (82.3)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	16 (20.8)	61 (79.2)
3. 女性70歳代	45 (100.0)	10 (22.2)	35 (77.8)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)

注()内は77 # 家を100とした割合

1-002. 【調査員の方へ】回答者は回収できていますか

	合計	はい	いいえ
全体	419 (100.0)	88 (21.0)	331 (79.0)
男性計	171 (100.0)	38 (22.3)	133 (77.8)
女性計	248 (100.0)	50 (20.1)	198 (79.9)
1. 男性50歳代	60 (100.0)	11 (18.3)	49 (81.7)
2. 男性60歳代	30 (100.0)	7 (23.3)	23 (76.7)
3. 男性70歳代	0 (-)	0 (-)	0 (-)
4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性計	248 (100.0)	49 (20.0)	199 (80.0)
1. 女性50歳代	113 (100.0)	23 (20.3)	90 (80.0)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	16 (20.8)	61 (79.2)
3. 女性70歳代	45 (100.0)	10 (22.2)	35 (77.8)
4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はワウパーセンテージ(100とした割合)

1-003. 【調査員の方へ】このカテゴリに答えた人を誰か教えてください

	合計	1. 本人のみが回答	2. 本人と配偶者が回答	3. 本人と配偶者以外の代理人が回答	4. 本人と配偶者以外の代理人の回答のみ	5. 配偶者以外の代理人の回答のみ
全体	419 (100.0)	375 (89.5)	33 (7.9)	6 (1.4)	2 (0.7)	1 (0.2)
男性計	171 (100.0)	133 (80.1)	18 (10.5)	2 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	248 (100.0)	242 (97.6)	15 (6.1)	4 (1.6)	2 (0.8)	1 (0.4)
1. 男性50歳代	60 (100.0)	54 (90.0)	4 (6.7)	2 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 男性60歳代	30 (100.0)	28 (93.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 男性70歳代	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性計	248 (100.0)	242 (97.6)	15 (6.1)	4 (1.6)	2 (0.8)	1 (0.4)
1. 女性50歳代	113 (100.0)	107 (94.7)	4 (3.5)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (0.0)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	75 (97.4)	1 (1.3)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 女性70歳代	45 (100.0)	43 (95.6)	1 (2.2)	1 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はワウパーセンテージ(100とした割合)

「くらしと健康の調査」面接調査

J-001. 回答者の代理人に、質問のすべて、ないし一部を答えてもらった場合、回答者と代理人はどのような関係でしたか、回答者からみた居所で記入してください。

	1. 配偶者・子供・両親・義理の両親の内縁の親族・妻・妾	2. 同居の親族	3. 同居の親族以外	4. 同居の親族以外	5. 同居の親族以外	6. 同居の親族以外	7. 同居の親族以外	8. 同居の親族以外	9. 同居の親族以外	10. 同居の親族以外
全体	44 (100.0)	38 (86.4)	3 (6.8)	1 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.2)
男性計	34 (100.0)	30 (88.2)	2 (5.9)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.9)
1. 男性の年代	11 (100.0)	9 (81.8)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)
2. 男性の年代	11 (100.0)	11 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 男性の年代	12 (100.0)	10 (83.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (16.7)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	8 (100.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
1. 女性の年代	3 (100.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 女性の年代	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 女性の年代	3 (100.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内は100とした割合

J-002. インタビューしているときに、一語でも、回答者本人ならびにその代理人以外に、回答が影響を与えた第三者はいましたか。(複数回答)

	1. 誰もいなかった	2. 配偶者・同居の親族	3. 同居の親族以外	4. 同居の親族以外	5. 同居の親族以外	6. 同居の親族以外
全体	417 (100.0)	349 (83.7)	14 (3.4)	3 (0.7)	1 (0.2)	3 (0.7)
男性計	171 (100.0)	132 (77.2)	37 (21.6)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.6)
1. 男性の年代	81 (100.0)	67 (82.7)	14 (17.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 男性の年代	90 (100.0)	74 (82.2)	16 (17.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 男性の年代	20 (100.0)	17 (85.0)	3 (15.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	244 (100.0)	216 (88.5)	22 (9.0)	1 (0.4)	2 (0.8)	2 (0.8)
1. 女性の年代	113 (100.0)	110 (97.3)	3 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 女性の年代	75 (100.0)	69 (92.0)	6 (8.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3. 女性の年代	45 (100.0)	40 (88.9)	5 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内は100とした割合

J-003. インタビューの間に回答者の態度はどうか、かか

	1. とてもよかったです	2. よかった	3. まあまあよかったです	4. よくない	5. 初めは悪かったが、インタビューの間に悪くなかった	6. 初めは悪かったが、インタビューの間に悪くなった
全体	419 (100.0)	208 (49.6)	139 (33.2)	58 (13.8)	3 (0.7)	5 (1.2)
男性計	171 (100.0)	80 (46.8)	56 (32.7)	28 (16.4)	2 (1.2)	2 (1.2)
1. 男性50歳代	60 (100.0)	29 (48.3)	33 (55.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 男性60歳代	100 (100.0)	48 (48.0)	31 (31.0)	19 (19.0)	1 (1.0)	1 (1.0)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	13 (43.3)	10 (33.3)	6 (20.0)	1 (3.3)	0 (0.0)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	248 (100.0)	127 (51.2)	82 (33.1)	29 (11.7)	1 (0.4)	2 (0.8)
1. 女性50歳代	123 (100.0)	64 (52.0)	42 (34.1)	15 (12.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	41 (53.2)	24 (31.2)	9 (11.7)	0 (0.0)	1 (1.3)
3. 女性70歳代	45 (100.0)	22 (48.9)	16 (35.6)	5 (11.1)	0 (0.0)	2 (4.4)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内は百分率を100とした割合

J-004. なぜ初めは良かった回答者の態度が、インタビューの間に悪くなったのか(複数回答)

	1. 回答者が興味をななくした	2. 回答者が興味をななくした	3. その他
全体	6 (100.0)	2 (33.3)	3 (50.0)
男性計	2 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)
1. 男性50歳代	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
2. 男性60歳代	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
3. 男性70歳代	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 男性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女性計	4 (100.0)	2 (50.0)	1 (25.0)
1. 女性50歳代	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
2. 女性60歳代	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
3. 女性70歳代	2 (100.0)	0 (0.0)	1 (50.0)
4. 女性不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

注：()内は百分率を100とした割合

1-006. 回答者は質問を聞きなおしましたか。

	1. 聞き返さなかった	2. ほとんど聞き返さなかった	3. 聞き返した	4. しばしば聞き返した	5. かなりの程度で聞き返した	6. いつも聞き返した
全体	419 (100.0)	69 (16.5)	482 (115.3)	339 (81.0)	39 (9.3)	4 (1.0)
男性	171 (100.0)	44 (25.7)	227 (132.7)	15 (8.8)	2 (1.2)	2 (1.2)
女性	248 (100.0)	25 (10.1)	223 (89.9)	4 (1.6)	3 (1.2)	0 (0.0)
1. 男性50歳代	61 (100.0)	15 (24.6)	46 (75.4)	18 (29.5)	5 (8.2)	0 (0.0)
2. 男性60歳代	60 (100.0)	3 (5.0)	57 (95.0)	11 (18.3)	6 (10.0)	2 (3.3)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	0 (0.0)	30 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
男性計	245 (100.0)	43 (17.6)	202 (82.4)	49 (20.0)	24 (11.1)	2 (0.8)
女性	123 (100.0)	26 (21.1)	97 (78.9)	21 (17.1)	8 (6.5)	4 (3.3)
1. 女性50歳代	77 (100.0)	11 (14.3)	66 (85.7)	18 (23.4)	10 (13.0)	1 (1.3)
2. 女性60歳代	46 (100.0)	3 (6.5)	43 (93.5)	10 (22.2)	6 (13.3)	6 (13.3)
3. 女性70歳代	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

注：()内はパーセンテージを示した割合

1-007. 全体としてみて、回答者は質問を聞き返していませんか。

	1. 理解していません	2. ほとんど理解していません	3. 理解していません	4. しばしば理解していません	5. かなりの程度で理解していません	6. いつも理解していません
全体	419 (100.0)	0 (0.0)	23 (5.5)	31 (7.4)	68 (16.2)	229 (54.7)
男性	171 (100.0)	0 (0.0)	9 (5.3)	10 (5.8)	28 (16.4)	89 (51.5)
女性	248 (100.0)	0 (0.0)	14 (5.6)	21 (8.5)	40 (16.1)	139 (55.8)
1. 男性50歳代	61 (100.0)	0 (0.0)	4 (6.6)	6 (9.8)	10 (16.4)	42 (68.8)
2. 男性60歳代	60 (100.0)	0 (0.0)	5 (8.3)	7 (11.7)	16 (26.7)	32 (53.0)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	8 (26.7)	17 (56.6)
4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性計	245 (100.0)	0 (0.0)	14 (5.7)	21 (8.6)	49 (20.0)	139 (56.7)
1. 女性50歳代	123 (100.0)	0 (0.0)	6 (4.9)	8 (6.5)	18 (14.6)	75 (60.9)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	0 (0.0)	4 (5.2)	9 (11.7)	16 (20.8)	35 (45.5)
3. 女性70歳代	46 (100.0)	0 (0.0)	4 (8.7)	2 (4.3)	9 (19.6)	29 (62.5)
4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はパーセンテージを示した割合

1-006. 調査者のお住まいのタイプは何ですか。

	1. 戸建て		2. 共同住宅 (ファミリー・2階)		3. 共同住宅 (1・2階)		4. 共同住宅 (3から5階)		5. 共同住宅 (6から10階)		6. 共同住宅 (11階以上)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	419	241	5	27	169	32	4					
(100.0)	(57.5)	(1.2)	(6.4)	(26.0)	(7.9)	(1.0)						
男性 計	171	108	3	23	16	1						
(100.0)	(63.2)	(1.8)	(5.5)	(19.3)	(9.4)	(0.6)						
1. 男性50歳代	81	42	3	8	22	0						
(100.0)	(51.9)	(3.7)	(9.0)	(27.2)	(7.4)	(-)						
2. 男性60歳代	39	21	0	1	15	0						
(100.0)	(53.8)	(-)	(1.7)	(15.0)	(6.5)	(1.7)						
3. 男性70歳代	39	21	0	1	15	0						
(100.0)	(70.0)	(-)	(3.3)	(6.7)	(20.0)	(-)						
4. 男性不明	0	0	0	0	0	0						
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
女性 計	245	132	2	17	75	17	2					
(100.0)	(53.9)	(0.8)	(6.9)	(30.6)	(6.9)	(0.8)						
1. 女性50歳代	123	55	1	9	48	9	1					
(100.0)	(44.7)	(0.8)	(7.3)	(39.0)	(7.3)	(0.9)						
2. 女性60歳代	45	32	0	4	24	0						
(100.0)	(58.0)	(1.3)	(5.2)	(24.7)	(9.1)	(1.3)						
3. 女性70歳代	45	32	0	4	24	0						
(100.0)	(71.1)	(-)	(8.9)	(17.8)	(2.2)	(-)						
4. 女性不明	0	0	0	0	0	0						
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						

注：()内はパーセンテージを100とした割合

1-009. 外見から見て、調査者のお住まいの質はどのようなお住まいですか。

	1. かなり良い		2. 良い		3. 平均的		4. 悪い		5. かなり悪い	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	419	68	124	174	47	0				
(100.0)	(16.2)	(29.0)	(41.5)	(11.2)	(1.4)					
男性 計	171	20	57	72	13	3				
(100.0)	(11.7)	(33.3)	(27.5)	(7.6)	(1.8)					
1. 男性50歳代	60	8	27	44	4	2				
(100.0)	(13.3)	(45.0)	(33.3)	(6.7)	(1.7)					
2. 男性60歳代	20	5	8	16	1	0				
(100.0)	(16.7)	(26.7)	(53.3)	(3.3)	(-)					
3. 男性70歳代	20	5	8	16	1	0				
(100.0)	(16.7)	(26.7)	(53.3)	(3.3)	(-)					
4. 男性不明	0	0	0	0	0	0				
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
女性 計	245	41	66	101	34	3				
(100.0)	(16.7)	(26.9)	(41.6)	(15.9)	(1.2)					
1. 女性50歳代	123	14	37	46	15	1				
(100.0)	(11.3)	(30.1)	(29.3)	(14.6)	(1.6)					
2. 女性60歳代	77	16	26	25	9	1				
(100.0)	(20.8)	(33.8)	(32.5)	(11.7)	(1.3)					
3. 女性70歳代	45	9	9	20	7	0				
(100.0)	(20.0)	(20.0)	(44.4)	(15.6)	(-)					
4. 女性不明	0	0	0	0	0	0				
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				

注：()内はパーセンテージを100とした割合

「010. 外見が、回答者の暮らし向きはどのような本調ですか。」

	1. かなり整 理	2. 整 頓	3. 平均的	4. 汚 しい	5. かなり汚 しい
全体	419 (100.0)	40 (9.5)	93 (22.2)	275 (65.9)	54 (12.9)
男性 計	171 (100.0)	16 (9.4)	47 (27.5)	87 (50.9)	15 (8.8)
1. 男性50歳代	81 (100.0)	6 (7.4)	21 (25.9)	40 (49.4)	12 (14.9)
2. 男性60歳代	60 (100.0)	7 (11.7)	18 (30.0)	30 (50.0)	4 (6.7)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	3 (10.0)	8 (26.7)	17 (56.7)	2 (6.7)
4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性 計	248 (100.0)	23 (9.4)	45 (18.4)	158 (63.7)	36 (14.7)
1. 女性50歳代	123 (100.0)	9 (7.3)	18 (14.6)	73 (59.3)	22 (17.9)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	10 (13.0)	16 (20.8)	43 (55.9)	7 (9.1)
3. 女性70歳代	48 (100.0)	6 (12.5)	11 (22.9)	22 (45.8)	9 (18.8)
4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注()内は百分率を100とした割合

「011. 回答者のお住まいの周辺は、ごみなどない清潔な場所だと思いますか。」

	1. かなり そう思う	2. 多少 そう思う	3. どちら もない	4. どちら もあまり ない	5. どちら もとても ない
全体	419 (100.0)	41 (9.8)	264 (63.0)	98 (23.4)	16 (3.9)
男性 計	171 (100.0)	14 (8.2)	112 (65.5)	40 (23.4)	5 (2.9)
1. 男性50歳代	81 (100.0)	8 (9.9)	50 (61.7)	19 (23.5)	4 (4.9)
2. 男性60歳代	60 (100.0)	3 (5.0)	43 (71.7)	13 (21.7)	1 (1.7)
3. 男性70歳代	30 (100.0)	0 (0.0)	21 (70.0)	7 (23.3)	2 (6.7)
4. 男性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女性 計	248 (100.0)	26 (10.5)	151 (61.0)	57 (23.0)	11 (4.5)
1. 女性50歳代	123 (100.0)	14 (11.4)	71 (57.7)	33 (26.8)	5 (4.1)
2. 女性60歳代	100 (100.0)	5 (5.0)	68 (68.0)	22 (22.0)	3 (3.0)
3. 女性70歳代	45 (100.0)	5 (11.1)	27 (60.0)	10 (22.2)	3 (6.7)
4. 女性不明	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注()内は百分率を100とした割合

1-012. 調査のお住まいの周辺は、希望のよい状態だと思いますか。

	合計	1. 思ったよりよい		2. 思ったよりよい		3. どちらともいえない		4. 思ったより悪い		5. 思ったより悪い	
		割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
全体	419 (100.0)	38 (9.1)	282 (67.3)	84 (20.0)	14 (3.3)	1 (0.2)					
男性計	171 (100.0)	12 (7.0)	117 (68.4)	35 (20.5)	6 (3.5)	0 (0.0)					
1. 男性50歳代	100.0	7.0	69.1	18.1	3.1	0.0					
2. 男性60歳代	100.0	3.0	69.1	12.2	3.1	0.0					
3. 男性70歳代	100.0	5.0	70.0	20.0	5.0	0.0					
4. 男性不明	0	0	0	0	0	0					
女性計	248 (100.0)	26 (10.5)	164 (66.1)	49 (20.0)	7 (2.9)	0 (0.0)					
1. 女性50歳代	100.0	8.9	68.3	20.3	2.4	0.0					
2. 女性60歳代	100.0	6.0	66.0	12.0	3.0	0.0					
3. 女性70歳代	100.0	7.8	72.7	15.0	1.0	0.0					
4. 女性不明	0	0	0	0	0	0					

注(1)内は77歳を100とした割合

1-013. 調査のお住まいの周辺は、騒音やにおいなどの問題がない状態だと思いますか。

	合計	1. 思ったよりよい		2. 思ったよりよい		3. どちらともいえない		4. 思ったより悪い		5. 思ったより悪い	
		割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
全体	410 (100.0)	30 (7.3)	222 (54.1)	112 (27.3)	38 (9.1)	7 (1.7)					
男性計	171 (100.0)	10 (5.8)	109 (63.2)	47 (27.5)	9 (5.3)	1 (0.6)					
1. 男性50歳代	100.0	4.9	68.0	24.7	11.1	1.2					
2. 男性60歳代	100.0	6.7	61.7	25.0	1.7	6.0					
3. 男性70歳代	100.0	6.7	60.0	26.7	3.2	3.2					
4. 男性不明	0	0	0	0	0	0					
女性計	240 (100.0)	20 (8.3)	133 (55.4)	65 (27.1)	29 (12.0)	6 (2.5)					
1. 女性50歳代	100.0	7.2	51.2	30.9	9.9	0.8					
2. 女性60歳代	100.0	6.3	59.7	20.8	1.1	1.3					
3. 女性70歳代	100.0	11.1	51.1	26.0	11.0	0.0					
4. 女性不明	0	0	0	0	0	0					

注(1)内は77歳を100とした割合

1-014. 回答者のお住まいの県別には、公理や様々の多い州郡でしたか。

	1. まったく そう思う	2. まったく そう思う	3. どちらか もいふな う思わ ない	4. どちらか もあまり な う思わ ない	5. まったく そう思 わない
合 計	419 (100.0)	34 (8.1)	172 (41.1)	172 (41.1)	40 (9.5)
全 体	171 (100.0)	11 (6.4)	71 (41.5)	74 (43.2)	15 (8.8)
男性 計	81 (100.0)	5 (6.2)	39 (47.0)	34 (42.0)	12 (14.8)
1. 男性50歳代	60 (100.0)	4 (6.7)	30 (50.0)	24 (40.0)	2 (3.3)
2. 男性60歳代	30 (100.0)	2 (6.7)	11 (36.7)	16 (53.3)	1 (3.3)
3. 男性70歳代	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
4. 男性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
女性 計	246 (100.0)	22 (9.0)	100 (40.9)	98 (40.0)	24 (9.8)
1. 女性50歳代	123 (100.0)	11 (8.9)	47 (38.2)	52 (42.3)	12 (9.8)
2. 女性60歳代	77 (100.0)	7 (9.1)	33 (42.9)	29 (37.7)	8 (10.4)
3. 女性70歳代	46 (100.0)	4 (8.9)	20 (43.5)	17 (37.0)	4 (8.9)
4. 女性不明	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

注(入)内は777 歳数を100とした割合

厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業

年金制度と引退プロセス・受益者の生活水準
の相互関係に関する研究

平成 19 年度～20 年度 総合研究報告書

(第 3 分冊)

研究代表者 北村 行伸

平成 21 (2009) 年 3 月

(別添1)

厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業

年金制度と引退プロセス・受益者の生活水準
の相互関係に関する研究

平成19年度～20年度 総合研究報告書
(第3分冊)

研究代表者 北村 行伸

平成21(2009)年3月

総合研究報告書 目次

目 次

I. 総合研究報告	
沖縄県における「くらしと健康の調査」の概要	i
北村 行伸・高山 憲之・小塩 隆士・清水谷 論	
(資料1) 分析結果クロス表	
(資料2) 主観的意識の対人間比較に関する研究	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	iii
III. 沖縄県における「くらしと健康の調査」分析結果クロス表	1
IV. 研究成果	
1. Social Security Reforms and Labor Force Participation of the Elderly in Japan	
小塩 隆士・清水谷論	425
2. Does Social Security Induce Withdrawal of the Old from the Labor Force and Create Jobs for the Young?: The Case of Japan	
小塩 隆士・清水谷論	459
3. The Labor Supply Effect of Social Security Earnings Test revisited: Empirical Evidence from its Elimination and Revival in Japan	
小塩 隆士・清水谷論	490
V. 主観的意識の対人間比較に関する研究：インターネット調査の概要	531

注：本報告書は製本上の制約により以下の3分冊になっている。

I, IIのすべて、およびIIIの一部(1~208頁)	第1分冊
IIIの残り(209~424頁)	第2分冊
IVおよびVのすべて(425~584頁)	第3分冊

Social Security Reforms and Labor Force Participation of the Elderly in Japan

Takashi Oshio^a, Akiko Sato Oishi^b, and Satoshi Shimizutani^c

Abstract

We examine how social security programs have affected the labor force participation (LFP) of the elderly over the past forty years in Japan. Using publicly available data, we construct forward-looking incentive measures for inducing retirement, to ascertain the actual changes in the generosity of the programs and to explore the impact of the reforms on the labor supply of the elderly. Our regression analysis shows that the LFP of the elderly is significantly sensitive to the measures, and our counter-historical simulations show that since 1985, social security reforms have significantly encouraged the elderly to remain longer in the labor force.

Key words: social security program, social security wealth, labor force participation of the elderly

JEL classification codes: H55, J26

Correspondence: Takashi Oshio, Graduate School of Economics, Kobe University, 2-1 Rokkodai-cho, Nada-ku, Kobe, Hyogo 657-8501, Japan. Tel/Fax: +81-78-803-6818

* This paper was motivated by the International Social Security Project of the National Bureau of Economic Research (NBER) in which the authors participated. Any remaining errors are our own.

^a Professor, Graduate School of Economics, Kobe University; E-mail: oshio@econ.kobe-u.ac.jp

^b Associate Professor, Faculty of Law and Economics, Chiba University; E-mail: oishi@le.chiba-u.ac.jp

^c Senior Research Fellow, Institute for International Policy Studies; E-mail: sshimizutani@iips.org

1. Introduction

In addition to health status, the generosity of social security programs is considered to be one of the key determinants of retirement decisions. A significant amount of literature concerning the relationship between the social security benefits and labor force participation (LFP) of the elderly has highlighted the importance of policy reforms in many developed countries. In particular, a series of works by Gruber and Wise (1999, 2004, 2007), which are recent examples of cross-country studies on this issue, reveal that social security incentives have a sizeable effect on retirement decisions across countries with different labor market institutions and other social characteristics. In recent years, Japan has also experienced major reforms in the social security and employment policy for the elderly, motivated by serious concerns about the sustainability of the current system and the deterioration of fiscal balances in future. However, in contrast to the significant number of discussions on the fiscal effects of such reforms, the impact of the changing generosity of social security programs on the labor supply of the elderly has been largely disregarded thus far.

Quantifying the labor supply effect of social security programs is of importance to both academics and policymakers in the context of future reforms, which will take place under conditions of harsher demographic pressures and reduced feasibility in further raising the mandatory retirement age limit. Moreover, separating out the effect of social security programs from other factors is also critical to explore why Japanese people are motivated to retire later than people belonging to other developed countries. It has often been argued that less generous social security programs encourage Japanese workers to remain longer in the labor force.¹ However, most of the preceding studies in Japan are limited to the analysis of the effect of the changes in

¹ There have also been a considerable number of policy debates on the effects of social security programs on the employment/unemployment of the youth, especially in European countries. After the mid-1970s, which witnessed a high rate of unemployment among the youth, many European countries introduced more incentives for the elderly to exit the labor force in order to create jobs for the young population, e.g., the "Job Release Scheme in the U.K. However, this issue is largely irrelevant to and rarely discussed in the context of Japan.

the income-tested pension program (*Zaishoku Pension*). A more important issue that is yet to be examined concerns the effect of a series of major reforms of the main body of social security programs on the LFP of the elderly.²

This paper investigates the manner in which the changing generosity of social security programs has affected the withdrawal of the elderly from the labor force in Japan over the past forty years. To examine the relation between social security programs and the retirement decisions of the elderly, we construct some forward-looking measures that provide an incentive to retire, on the basis of publicly available year-by-age data. These measures are based on the notion of social security wealth (SSW), which is defined as the expected present value of net social security benefits received over a lifetime (see Gruber and Wise (1999)). Retirement decisions are determined not only by the income at the time of retirement but also by the flow of future social security benefits and their present value (see Stock and Wise (2000a, 2000b)). Moreover, a rational individual is likely to determine his/her retirement age by considering the potential gains from the postponement of his/her retirement (see Coile and Gruber (2000a, 2000b)). To address these issues, we construct three incentive measures for inducing retirement—social security wealth accrual (SSA), peak value (PV), and option value (OV)—derived from or related to SSW and, subsequently, examine the effect of these measures on the labor supply of the elderly.

In addition to understanding the dynamic elements of the incentive measures for inducing retirement, two econometric issues need to be resolved. The first is the simultaneity bias in estimations. Relating the incentive measures to the actual probability of retirement is not free from a simultaneous estimation bias because observed decisions and social security benefits are jointly determined. We will solely focus on the variations in the benefits that arise from institutional changes in social security programs and that are exogenous to individual retirement decisions. The second is the limited data availability in Japan. We recognize that it is advantageous to utilize household-level data on households who are provided with a variety of

² See, for example, Seike (1993), Ogawa (1998a, 1998b), Iwamoto (2000), Abe (2001), and Ohtake and Yamaga (2003).

incentive measures. Unfortunately, there is no micro-level dataset with longitudinal information that entails a long period and several social security reforms.

This analysis focuses on the aggregate year-by-age-group data of LFP and the incentive measures for inducing retirement because only the data concerning five-year age groups was available from the Labor Force Survey (LFS) compiled by the Ministry of Internal Affairs and Communications (MIAC). This empirical analysis is based on 120 observations of males and females belonging to the age groups of 55–59, 60–64, and 65–69 years over a period of forty years (1968 to 2007). We adopt the following empirical strategy to address the simultaneity bias in estimations. First, we establish a “typical person”—specifically, one who was born in 1935 and whose earnings profile over his/her lifetime is identical to the average for his/her cohort—and assume that he/she is 55 years old. We compute his/her benefits and incentive measures under the social security programs available in each year. Second, we compute the weighted averages of the incentive measures for each age group for each year in order to understand the overall generosity of the social security programs for each age group. Then, we estimate the regression models to relate the LFP of each age group to the estimated incentive measures along with the covariates. Moreover, we conduct counter-historical simulations to assess the impact of the key reforms on the LFP of the elderly since the mid-1980s.

This empirical analysis yielded three findings. First, the estimated age-average SSW peaked in the mid-1980s as the social security programs became more generous until the 1985 Reform and had been declining since then. Second, the regression results reveal that the retirement decisions of elderly workers are significantly sensitive to OV, which incorporates utilities from wage earnings as well as from social security benefits. Finally, the counter-historical simulations show that the 1985 Reform and subsequent reforms encouraged the elderly to remain longer in the labor force.